※令和４年度以降入学生用

学校番号	２０３

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書道Ⅰ」　（東京書籍）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違いなどを学びましょう。
・行書から入り、楷書・篆書などの書体や仮名を学んで、筆の弾力を使いこなし、感性を高め、表現と鑑賞の基礎的・基本的な能力を伸ばすことを目指します。
・身近に飾れる個性豊かな書作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。
(1)書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
(2)書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
(3)主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。 ・生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	書写と書道	・中学校国語科書写の確認をした上で、高校芸術科書道の導入として、基本的な用具・用材や姿勢・執筆法を学び、書表現の多様性について理解する。ペン字も実施する。	a:書写と書道の共通点と相違点について理解している。書表現をするための基本的な技能を身に付け、表している。 b:姿勢・執筆法や用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて幅広く理解し表現している。 c:主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。	ワークシート 作品	ワークシート	振り返りシート 作品
	漢字の書（行書）	・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付ける。 ・古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する。 ・一字書の作品制作を通して、意図に基づいた表現をする。 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わりを理解する。	a:用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりなどについて、書の創造的活動を通して理解を深めている。 a:古典に基づく基本的な用筆・運筆や、古典の線質、字形や構成を生かした表現など、書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付けている。 b:古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現など、書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫している。 c:漢字の書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。	古典観察シート 作品	古典観察シート	振り返りシート 作品

※令和４年度以降入学生用

二学期	漢字仮名交じりの書	・作品の鑑賞、言葉の選定、作品制作(顔彩使用) 作品鑑賞を生かして、自身の表現を思い描き、意図に基づいて言葉を選定し、構想と表現を工夫して作品制作する。 ・相互鑑賞会 他者と作品の共有・相互鑑賞を生かして作品制作を行う。	b:自身の表現の意図に基づいて言葉を考え、選定できている。 既得の用筆や運筆を活用して、作品を構想し表現を工夫している。 a:既得の知識や技能を効果的に表現している。用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて幅広く理解し表現している。 c:漢字仮名交じり文の書の基本的な要素、紙面構成など書の表現性、表現効果に関わることについて、主体的に自身の意図に基づく表現を工夫し表そうとしている。 他者の作品について積極的に意見を述べるとともに、自身の作品に対する他者の意見を聞いて、作品をより良いものにしようとしている。	ワークシート 作品	ワークシート 相 互 批評記録	振り返りシート 作品
	篆刻	・姓名印を篆書体で制作する。 ・毛筆とは異なる用具・用材の正しい使い方を理解し慣れる。 ・篆刻の刻し方を理解し、工夫して表現する。 ・色々な字典を利用し、個性的な表現を工夫する。	a:毛筆とは異なる用具・用材の正しい使い方を理解し、表現する技能を身に付けている。 b:篆刻のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫している。 c:篆刻の基本的な要素や表現効果に関わり、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。	ワークシート 作品	ワークシート	振り返りシート 作品

※令和４年度以降入学生用

	漢字の書（　楷書　）	・古典の学習を通して、基本的な用筆法・運筆法を学ぶ。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付ける。 ・古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する。 ・各古典の表現の違いを理解し、その特徴を時代と人物を通して鑑賞する。	a：用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりなどについて、書の創造的活動を通して理解を深めている。 a：古典に基づく基本的な用筆・運筆や、古典の線質、字形や構成を生かした表現など、書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付けている。 b：古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現など、書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫している。 c：漢字の書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。	古典観察シート 作品	古 典 観 察シート	振り返りシート 作品
三学期	仮名の書	・古典の学習を通して、基本的な用筆法・運筆法を学ぶ。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付ける。 ・古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する。	a：用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書風と用筆・運筆との関わりなどについて、書の創造的活動を通して理解を深めている。 a：古典に基づく基本的な用筆・運筆や、古典の線質、字形や構成を生かした表現など、書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付けている。 b：古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現など、書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫している。 c：仮名の書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。	ワークシート 作品	ワークシート	振り返りシート 作品

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度